

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-136069  
(43)Date of publication of application : 22.05.1998

(51)Int.Cl. H04M 1/02  
H04B 1/38  
H04B 7/26  
H05K 5/03

(21)Application number : 09-294905 (71)Applicant : MOTOROLA INC  
(22)Date of filing : 13.10.1997 (72)Inventor : PETRELLA THOMAS ATHONY  
YORIO RUDY

(30)Priority

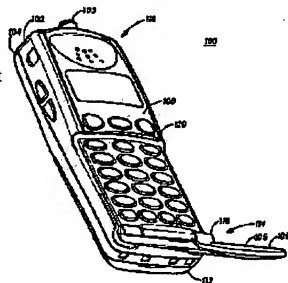
Priority number : 96 730189 Priority date : 15.10.1996 Priority country : US

(54) PORTABLE COMMUNICATION EQUIPMENT HAVING REMOVABLE DECORATIVE ELEMENT

(57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To permit a secondary purchaser to remodel and adjust a decorative appearance, while an adjusting element is rigidly held by providing a first decoration part arranged near the second end part of a housing and on a front face, so that it is freely movable and a second decoration part arranged on the outer face of a key pad cover so that it can move freely.

**SOLUTION:** The first decoration part 108 is stopped at the front part of the housing 112 by a snap-type, and the necessity for a latch mechanism can be eliminated. A tab and a slot for snap-type fitting are designed to hold the first decoration part 108 on the housing 112, even if force is added in any direction. Actually, such force tends to unfasten a fitting part and hold the first decoration part 108. The second decoration part is fitted to the keypad cover 106 in the snap-type, and the latch mechanism is eliminated. The first and second decoration parts can be taken out by permitting the user to give force for bending and pushing away the decoration part by fingers. Thus, the decorative exterior appearance can be given and changed by adjusting it to the taste of the user.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-136069

(43) 公開日 平成10年(1998) 5月22日

(51) Int.Cl.<sup>4</sup> 識別記号

H 0 4 M 1/02

H 0 4 B 1/38

7/26

H 0 5 K 5/03

F I

H 0 4 M 1/02

H 0 4 B 1/38

H 0 5 K 5/03

H 0 4 B 7/26

C

D

U

審査請求 未請求 請求項の数10 F D (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平9-294905

(22) 出願日 平成9年(1997)10月13日

(31) 優先権主張番号 7 3 0 1 8 9

(32) 優先日 1996年10月15日

(33) 優先権主張国 米国 (U S)

(71) 出願人 390009597

モトローラ・インコーポレイテッド

MOTOROLA INCORPORATED

アメリカ合衆国イリノイ州シャンバーグ、  
イースト・アルゴンキン・ロード1303(72) 発明者 トーマス・アンソニー・ベトレラ  
アメリカ合衆国ウィスコンシン州バーリントン、  
アルヴィン・ホウ5736

(72) 発明者 ルーディー・ヨリオ

アメリカ合衆国イリノイ州マンドレーン、  
サウス・レイク・ストリート27

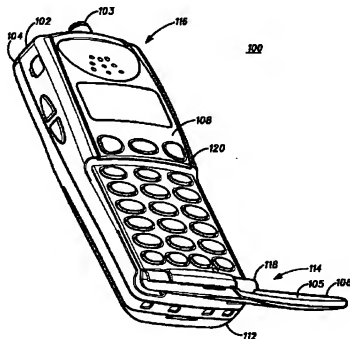
(74) 代理人 弁理士 大貫 進介 (外1名)

(54) 【発明の名称】 取り外し可能な装飾要素を有する携帯通信装置

(57) 【要約】

【課題】 個別に調整した装飾的外観をもって製造することができ、調整要素を項文に保持しながら二次購入者により改造および調整することのできる携帯通信装置を提供する。

【解決手段】 携帯通信装置は、第1装飾部と第2装飾部とを備え、これらの装飾部は両方ともユーザが取り外してユーザの好みにより携帯通信装置の装飾的外観を変更したり、個人仕様に合わせて調整することができる。第1装飾部は、内面上にタブを備える。タブは、ハウジング上のスロットと係合する。タブとスロットは整合され、第1装飾部を衝撃またはその他の力に抗して支張させる。第2装飾部は、キーパッド・カバーの凹部の内縁部に入れ子状に係合する外縁部を備える。第2装飾部のボスは、キーパッド・カバーにより規定されるアパーチャと係合して第2装飾部をキーパッド・カバー上に保持する。



**【特許請求の範囲】**

【請求項1】 前面(120)を有し、第1端部(114)および第2端部(116)を備えるハウジング(112)；前記ハウジングの前記第1端部に移動自在に配置され、内面(105)および外面(107)を有するキーパッド・カバー(106)；前記ハウジングの前記第2端部に近接して前記前面上に移動自在に配置される第1装飾部(108)；および前記キーパッド・カバーの前記外面上に移動自在に配置される第2装飾部(110)；によって構成されることを特徴とする携帯通信装置(100)。

【請求項2】 前記第1装飾部が：内面(122)および外面(124)；第1端部(126)および第2端部(128)；前記第1装飾部の前記第1端部に近接して、前記内面上に配置される1つ以上の第1タブ(156)；および前記第1装飾部の前記第2端部に近接して、前記内面上に配置される1つ以上の第2タブ(158)；を備え、前記ハウジングが：前記前面上に、前記1つ以上の第1タブを収納するよう位置決めされる1つ以上の第1スロット(160)；および前記前面上に、前記1つ以上の第2タブを収納するよう位置決めされる1つ以上の第2スロット(162)；を備える請求項1記載の携帯通信装置。

【請求項3】 前記1つ以上の第2タブの各々が、前記装飾部の前記内面に配置される本体(164)と、前記本体から前記第1装飾部の中央領域(168)から離れる方向へと延在する止め部(166)とを備え、前記止め部が前記1つ以上の第2スロットのうち対応するスロット(170)と係合して、前記装飾部を前記ハウジング上に確実に保持する請求項2記載の携帯通信装置。

【請求項4】 前記第1装飾部が前記第1装飾部の前記第2端部の縁部(190)を備え、前記第1装飾部が前記縁部において前記中央領域に向かう方向に課せられる力に応答して屈曲し、前記1つ以上の第2タブの前記止め部が前記装飾部の屈曲に応答して前記対応スロットから部分的に退出し、それにより前記第1装飾部の前記ハウジングからの容易な除去を可能にする請求項3記載の携帯通信装置。

【請求項5】 前記ハウジングの前記前面が前記第1装飾部を収納する寸法に設定される凹部(172)を有する請求項2記載の携帯通信装置。

【請求項6】 前記第1装飾部の前記外面が、前記第1装飾部の前記外面に課せられる力に応答して、前記ハウジング上に前記第1装飾部を確実に保持するよう凸状に形成される請求項5記載の携帯通信装置。

【請求項7】 前記キーパッド・カバーの前記外面が前記第2装飾部を収納する寸法に設定される凹部(200)を備え、前記凹部が前記縁部(202)を備え、前記第2装飾部が外縁部(204)を備え、前記内縁部の一部分が前記外縁部の一部分に係合して前記第2装飾部を

保持する請求項1記載の携帯通信装置。

【請求項8】 前記内縁部が外方および下方に向かって傾斜をつけられ、前記外縁部が同様に傾斜をつけられて前記第2装飾部を保持する請求項7記載の携帯通信装置。

【請求項9】 前記第2装飾部がボス(216)を備える内面(214)を有し、前記キーパッド・カバーが、前記第2装飾部と前記キーパッド・カバーとが組み立てられたときに前記ボスを収納する寸法に設定されるアパーチャ(218)を規定する請求項1記載の携帯通信装置。

【請求項10】 前記第2装飾部が前記ボスに課せられた力に応答して屈曲し、前記第2装飾部を前記キーパッド・カバーから容易に取り外すよう構築される請求項9記載の携帯通信装置。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、一般に携帯通信装置に関する。さらに詳しくは、本発明は取り外し可能な装飾要素(escutcheon element)を有する携帯通信装置に関する。

**【0002】**

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】 携帯通信装置は、当技術では広く知られる。このような携帯通信装置には、セルラ電話、コードレス電話および個人用通信機器が含まれる。通信装置は、従来、遠隔地の基地局と通信を行い、ユーザにワイヤレス通信を提供する。通信装置は、コードレス無線電話およびセルラ無線電話の市場において、広く受け入れられる形態のワイヤレス通信となる。

【0003】 このように広く受け入れられるために、個々の携帯通信装置の外観を差別化することが顧客、製造業者および通信装置の流通業者にとって重要な要件になる。顧客は、個人的な趣味や好みを満足させる独特の外観を望む。製造業者は、顧客に種々外観を提供し、製造業者自身の製品のための特徴的外観を提供するために独特の外観を望む。流通業者および小売業者は、市場で自分たちと他の製品とを差別化し、その銘柄を売り込むために独特の外観を望む。販売者と使用者の独自の外見をもつ携帯通信装置をもちたいという欲望が製造業者に伝えられ、その結果として、独特の外観をもつ携帯電話が製造される。

【0004】 無線電話などの通信装置は、従来は、トランシーバ回路構成およびユーザ・インタフェース回路構成を具備する無線電話回路構成を、ハウジング内に組み付けることにより製造される。ユーザ・インタフェース回路構成は、ディスプレイ、キーパッド、イアピースおよびマイクコネクタを備える。ハウジングは、従来、標準的な成形形状を有して、これと異なる標準的な成形形状を有する前ハウジングに整合される後ハウジングを備え

る。前ハウジングは、その成形外形、手触りまたは色により独自の外観を提供する。普通は、ユーザ・インタフェース要素は、前ハウジング内に搭載され、後ハウジングに搭載されるトランシーバに電氣的に接続される。ディスプレイおよびキーパッドもそれぞれ独自の外観を有する。携帯電話に全体として独自の外観を与えるために、独自の前ハウジング、独自のディスプレイおよび独自のキーパッドが製造業者により選択される。

【0005】従来の通信装置製造技術の欠点は、この技術により利用可能な独特の外観の数が制約されることである。前および後ハウジングは、外観と構造は標準的なものである。キーパッドやディスプレイにも同じことが言える。これまで最小限の変化しか可能でなかった。事実、製造コストを低く抑える必要性から、最小限のコストで容易に迅速に組み立てることのできる標準的要素のみを用いることが求められた。

【0006】さらに従来製造されてきた通信装置では、一度製造または購入した携帯電話の外観を、携帯電話ユーザが変更することはできない。アフターサービス会社は、携帯電話を保持するケースなどのアクセサリを供給することにより、顧客自身の独特の外見を必要とする顧客のニーズを満たそうとした。しかし、このようなケースは、体裁が悪く、重くなり、携帯通信装置の外観に与える影響は限られる。携帯通信装置の外観を容易に変更し、顧客自身の希望に外観を合わせる必要性が依然として存在する。

【0007】周知の通信装置設計の1つは、容易に変更可能な装飾部を提供することを試みる。この設計により、ユーザは製造後または購入後に携帯電話の外観を変えることができる。携帯電話は、取り外し可能なスナップ式装飾部とハウジングとを備える。この装飾部は、ハウジングの対応するスロット内に嵌合するタブを装飾部の周縁に放射状に配置する。製造業者またはユーザは、ハウジングから装飾部を外して、別の装飾部と置き換えることにより、携帯電話の外観を変えることができる。

【0008】装飾部付きのこのような携帯電話の成功は、装飾部をハウジングに取り付けるといふ本来は不確実な性質により制約を受けた。特に通信装置を色々な角度で落としたときのように、通信装置に衝撃を与えると、装飾部が緩むことがある。落下角度が異なると、装飾部とハウジングとに異なる力をかける。この力を予測してそれに対する感受性をなくそうとする試みはあまり成功していない。さらに、スナップ式接続部をより確実にする、たとえばより長い、あるいはより丈夫なタブを加えることにより装飾部の装着をより強固にしようと試みると、容易に交換ができる装飾部という目的が損なわれる。

【0009】通信装置のハウジングに装飾部を付ける別の周知の方法は、通信装置のハウジングにラッチ機構を加えることである。組立時に装飾部の内面の支柱がハ

ウジング内の孔を貫通して延在し、ハウジングの裏側のラッチ・キーパに係合する。ラッチ・キーパは、係合位置と離脱位置との間を摺動して、支柱を解放し装飾部の交換を可能にする。

【0010】ラッチ機構は、通信装置のコストが高くなるので理想的な解決策ではなかった。追加部品と共に、ハウジングとラッチ機構とを組み立てる余分な製造段階が必要とされる。無線電話などの通信装置は、消費者用製品であるので、その商業的な成功には製造コストを含む生産コストを最小限に抑えることが必要とされる。ラッチ機構を追加すると、コストを最小限に抑えることができない。

【0011】通信装置ハウジングに装飾部を取り付ける別の周知の方法は、1つ以上のネジと、接着剤などのより恒久的な方法とを用いることである。これら既知の方法のうち、製造業者が携帯通信装置の外観を特定のユーザに合わせて調整することに成功したものではなく、また製造後または購入後にユーザが携帯通信装置の外観を容易に変更することを可能にしたものもない。

【0012】従来の設計の別の欠点は、単独の取り外し可能な装飾要素という制約である。このような要素は、一般に、通信装置の前面の大部分を覆い、キーパッド・キーとディスプレイのアーバチャを残す。しかし、競争の大きい市場で製品の外観をさらに差別化するために、製造業者と流通業者は、複数の取り外し可能で交換可能な要素を有して、最大限製品の外観を混在させ一斉に調整することができるようにし、なおかつ携帯通信装置の外観を個人仕様に合わせて調整する際にユーザに最大限の融通性を許すことを望む。

【0013】従って、個別に調整した装飾的外観をもって製造することができ、調整用要素を頑丈に保持しながら二次購入者により改造および調整することのできる携帯通信装置が必要である。

【0014】

【実施例】図1および図2を参照して、携帯通信装置100は、前ハウジング102、後ハウジング104、キーパッド・カバー106、第1装飾部108および第2装飾部110を備える。前ハウジング102と後ハウジング104は、組み立てられると、共にハウジング112を形成する。ハウジング112は、第1端部114と第2端部116とを有する。ハウジング112は、さらに前面120を有し、これは前ハウジング102の前面でもある。

【0015】キーパッド・カバー106は、ハウジング112の第1端部114上に移動自在に配置される。キーパッド・カバー106は、図1に示される開放位置と図2に示される閉鎖位置との間で移動することができる。キーパッド・カバー106は、内面105と外面107とを有する。キーパッド・カバー106は開放位置と閉鎖位置との間でヒンジ118の周囲に回動自在に図

示されるが、スライド式キーパッド・カバーを含むその他のキーパッド構造も同様に用いることができる。最後に、アンテナ103がハウジング112の第2端部116に配置される。図3および図4を参照して、これらの図面は携帯通信装置100の一部分の分解図を示す。図3および図4には、キーパッド・カバー106、第1裝飾部108、第2裝飾部110およびキーパッド119が図示される。キーパッド119は、制御キー123を含む複数のキー121を備える。ハウジング112は、複数のキーホール117を規定する。キーパッド119は、キーパッド119がハウジング112内に位置するときに複数のキーホール117を貫通して延在するように配置された同数のキー121を有する。好ましくは、キーパッドは可撓性材料の単独片から一体的に形成される。キー121と制御キー123を押すと、ハウジング112内に配置されるキーボード上のキーボード要素を変形し係合する。

【0016】本発明をさらに良く図示するため、後ハウジング104を省略して前ハウジング102のみを図3および図4に図示する。しかし、組み立てられた携帯通信装置のハウジング112が後ハウジング104と前ハウジング102の両方を備えることは言うまでもない。ここではハウジング112と前ハウジング102に対する引用は交換可能に用いられる。説明のために、縦軸197と横軸199とが定義される(図3)。

【0017】トランシーバ、制御回路、ユーザ・インタフェースおよびバッテリーを含む動作回路構成は、ハウジング112内に内蔵される。ユーザ・インタフェースは、通常、スピーカ、マイクロフォン、ディスプレイおよびキーボードを備える。

【0018】第1裝飾部108が、前面120上で、ハウジング112の第2端部116に近接して移動自在に配置される。第1裝飾部108は、内面122と外面124とを備える。第1裝飾部108は、第1端部126と第2端部128とをさらに備える。第2端部128に近い外面124の部分は、アイア・カップ130を規定する輪郭をとる。第1裝飾部108は、アイア・カップ130内に複数の孔132を規定する。アイア・カップ130および孔132により、ハウジング112内に内蔵されるスピーカと、ユーザの耳との間に音響結合が可能になる。第1裝飾部108は、図示される実施例においてはレンズ136によって充填されるアパーチャ134をさらに規定する。図示される実施例において、レンズ136は透明なプラスチック要素で、ハウジング112内に内蔵されるディスプレイが見える。代替の実施例においては、レンズ136は第1裝飾部とは分離されて、ハウジング112に恒久的に固定されたものであってもよい。

【0019】第1裝飾部108は、孔138、孔140および孔142を含む複数の孔をさらに規定する。第1裝飾部108が前ハウジング102上に配置されると、

孔138、140、142は、孔144、孔146および孔148を含む前ハウジング102内に規定される対応の孔とそれぞれ整合する。孔138、140、142と孔144、146、148とは、キーパッド119の制御キー123へのアクセスを可能にするよう設定される。3つの制御キー123に関して3組の孔が図示されるが、任意の適切な数の孔と対応する孔とを設けることができることは言うまでもない。

【0020】第1裝飾部108の内面122は、孔132の周囲に配置される音響シール150を備える。音響シール150は、前ハウジング102により規定される音響アパーチャ152を囲む寸法となる。音響アパーチャ152は、携帯通信装置100が組み立てられたときにハウジング112内に搭載されるスピーカに隣接して位置する。音響シール150により、スピーカ、音響アパーチャ152、孔132およびアイア・カップ130間の良好な音響結合が確保される。

【0021】第1裝飾部108がハウジング112の前面120上に配置されると、音響シール150の周縁部154が前面120に係合して、前面120に対して第1裝飾部108を支持する。このようにして、音響シール150は第1裝飾部108が、第1裝飾部108への衝撃に応答して内側に(前面120に向かって)屈曲することを防ぐ。

【0022】第1裝飾部108は、第1裝飾部108の第1端部126に近接して内面122上に配置される1つ以上の第1タブ156をさらに備える。図示される実施例においては、1つ以上の第1タブ156は3つのタブを備えるが、任意の適切な数を用いることができる。第1裝飾部108は、第1裝飾部108の第2端部128に近接して内面122上に配置される1つ以上の第2タブ158をさらに備える。図示される実施例においては、1つ以上の第2タブ158は2つのタブを備えるが、任意の適切な数を用いることができる。

【0023】ハウジング112上に第1裝飾部108を保持するために、ハウジング112は、1つ以上の第1タブ156を収納するよう配置される1つ以上の第1スロット160を前面120上に備える。図示される実施例においては、1つ以上の第1スロット160は制御キー123のために設けられた孔138、140、142と共通に形成される。これは、第1裝飾部108内に形成しなければならぬアパーチャの数を最小限に抑えて、それにより第1裝飾部108の強度を最大にしながら製造コストを最小限に抑えるという利点を提供する。また、1つ以上の第1タブ156が1つ以上の第1スロット160に挿入されると、孔138、140、142を貫通して延在する制御キー123が1つ以上の第1タブ156を押して、1つ以上の第1タブ156を1つ以上の第1スロット160内に保持することを助ける。これにより第1裝飾部108を確実に保持して、なおかつ

制御キー123には可換性があるために第1装飾部108を容易に取り外すことができる。またこれも、ハウジング112上に第1装飾部108を保持するために、ハウジング112は、1つ以上の第2タブ158を収納するよう配置される1つ以上の第2スロット162を前面上に備える。

【0024】1つ以上の第1タブ156および1つ以上の第2タブ158は、第1装飾部108がハウジング112上に確実に保持されるよう設計される。図5を参照して、携帯通信装置100の第1前面図が図示される。図6は、図5の6-6で切断した断面図である。1つ以上の第1タブ158の各々は、第1装飾部108の前面122に配される本体164と、本体164から第1装飾部108の中央領域168から遠ざかる方向に向かって延在する止め部166とを備える。止め部166は、1つ以上の第2スロット162の170（図6）の対応するスロットに係合して、第1装飾部108をハウジング112上に確実に保持する。好ましくは、1つ以上の第1スロットの各々が同様に配置されて、止め部は本体から、第1装飾部108の中央領域168から遠ざかる方向に向かって延在する。1つ以上の第1タブ156および1つ以上の第2タブ158は、第1装飾部108の中央領域168から遠ざかる方向に延在する止め部を有する対応のスロットに係合する。これにより、衝撃またはその他の力が加えられても、第1装飾部108はハウジング112の前面120に付着したままになる。第1装飾部108をキーパッド・カバー106に向かう方向に押しのけようとする力は、対応スロット内の1つ以上の第1タブ156により抵抗を受ける。同様に、第1装飾部108をキーパッド・カバー106から遠ざかる方向に押しのけようとする力は、対応スロット内の1つ以上の第2タブ156により抵抗を受ける。かくして、第1装飾部108は、携帯通信装置100の縦軸197に沿う衝撃またはその他の力に抗して支張される。

【0025】携帯通信装置100の縦軸197に沿う他の力に抗して第1装飾部108を支張するために、ハウジング112の前面120は、第1装飾部108を収納する寸法の凹部172（図3）を有することが好ましい。凹部は、サイド・レール174およびサイド・レール176により隔てられる。第1装飾部108をハウジング112の前面120に配置すると、サイド・レール174が第1装飾部108に係合する。第1装飾部108は、外縁部178を有し、凹部172は内縁部180を有する。左側部182および右側部184などの外縁部の一部が、サイド・レール174およびサイド・レール176などの内縁部の一部とそれぞれ係合して、第1装飾部108をハウジング112上に確実に保持する。これで、第1装飾部108を横方向の力に抗して支張させる。また、このことにより第1装飾部108を前ハウジング102内に同一面に嵌合させることができるの

で、携帯通信装置100の視覚的魅力を強化することができる。

【0026】第1装飾部108をハウジング112から容易に外すために、第1装飾部108は第1装飾部108の第2端部128に縁部190を備える。第1装飾部108は、縁部190において第1装飾部108の中央領域169に向かう方向に掛けられる力に応答して屈曲する。1つ以上の第2タブの止め部177（図6）は、第1装飾部108が屈曲するとそれに応答して対応スロット170から退出する。

【0027】このように止め部166が退出することにより、第1装飾部108をハウジング112から容易に取り外すことができる。ユーザは、縁部190に沿って、第1装飾部108の中央領域169に向かう方向に、第1装飾部108を屈曲させ、それをハウジング112から引き上げることができるだけの充分な圧力を指でかけるだけでよい。アンテナ103（図1）が存在することで、携帯通信装置100を落としたり、その他の衝撃を受けた場合に、第1装飾部108を押しのけるのに充分な力が縁部190に加えられる可能性が小さくなる。あるいは、さらに万全を期するため、あるいはアンテナ103がない場合には、ハウジング112を第2端部116で多少延在させて、縁部190が同一面嵌合する、あるいはへこんだようにすることもできる。

【0028】図示される実施例においては、第1装飾部108の外面124を凸状にして、第1装飾部108の外面124に加えられる力に responding してハウジング上に第1装飾部108を確実に保持する。特に図3にみられるように、外面124を凸状にする、すなわちハウジング112から遠ざかる方向に上方に曲げる。左側部182と右側部184とは、サイド・レール174およびサイド・レール176と同一面嵌合する。しかし、中央領域168は同一面嵌合面上から多少上がる。これは、第1装飾部108の外面124に加えられる力をそらせる効果を有する。これは、加えられた任意の力に responding して第1装飾部108およびハウジング112をより確実に係合させる効果も有する。第1装飾部108は、力に responding して縦軸に沿って屈曲し、左側部182および右側部184は、サイド・レール174およびサイド・レール176にそれぞれ押しつけられる。

【0029】ここで第2装飾部110の確保を考えると、本発明の好適な実施例によるキーパッド・カバー106は第2装飾部110（図3）を保持する寸法の凹部200を備える。図示される実施例においては、凹部200は内縁部202を備え、第2装飾部110は外縁部204を備える。内縁部202の一部206が外縁部204の一部208と係合して、第2装飾部110を保持する。特に、内縁部202の部分206は、内縁部202の延在する弓形部分を備える。

【0030】第2装飾部110と対応する凹部200と

は任意の形状とすることができる。しかし、図示される実施例にみられる楕円形のような弓形状は、凹部200と第2装飾部110の両者の周縁部の係合を最大化する。

【0031】図示される実施例においては、凹部200の内縁部202は外方と下方とに向かって傾斜をつけられ、切欠部を形成する。第2装飾部110の外縁部204も同様に傾斜をつけられ、内縁部202と係合して入れ子になる。この構造で、第2装飾部110はキーパッド・カバー106の凹部200内に滑り込み、キーパッド・カバー106の遠端部210から近端部212に向かって移動する。凹部200内に完全に挿入されると、第2装飾部110の傾斜をつけた外縁部204は凹部200の傾斜をつけた内縁部202と入れ子状に係合して、凹部200内に第2装飾部110を保持する。

【0032】第2装飾部110が落下または衝撃条件下で凹部内に保持されることをさらに確かにするために、第2装飾部110はボス（浮出部）216を含む内面214を有する。キーパッド・カバー106は、ボス216を収納する寸法のアーチャ218を規定する。第2装飾部110の外縁部204が凹部200の内縁部202に入れ子状に係合すると、ボス216はアーチャ216に入り、その中にぴったりと保持される。このようにして、第2装飾部110はキーパッド・カバー106に固定される。

【0033】図7は、図5の直線7ー7に沿って切断した断面図である。図7は、ボス216がアーチャ218内に保持される様子を示す。図示される実施例においては、ボス216は第2装飾部110の内面214に基部220において付着される。ボス216は、可撓部222を備える。可撓部222は、可撓部222と第2装飾部110の内面214との間に切欠部224を規定する。ボス216はアーチャ218内に保持することを助けるために、切欠部224はアーチャ218のリップ226（図3および図4）に係合する。

【0034】キーパッド・カバー106から第2装飾部110を容易に取り外すために、第2相互接続110は、ボス216に加えられる力に応答して屈曲する構造となっている。この力は、キーパッド・カバー106の側面に沿う対向力と合成されると、第2装飾部110を屈曲させ、外縁部204を内縁部202から解放する。次に第2装飾部110を凹部200から滑り出させて、取り外して交換することができる。

【0035】次に図8ないし図11を参照して、携帯通信装置100の第2実施例が第2装飾部108をハウジング112に固定するための代替法を提供する。代替の実施例においては、リップ300が第2装飾部108の第2端部128において第2装飾部108の内面122に含まれる。ハウジング112は、ハウジング110の第2端部116において対応スロット302を形成する。

スロット302は、第1装飾部108がハウジングの前面120上に配置されるとリップ300を保持する寸法となる。

【0036】前ハウジング102上に第1装飾部108を確実に適合させるために、第2実施例による前ハウジング102は、前ハウジング102の第2端部116において凹部304を規定する。第2装飾部108の第2端部128は、凹部304内に嵌合する寸法の延在部306を備える。リップ300は、延在部306の内面308上に形成される。凹部304は、整合面310により区切られ、延在部306は端部312で終わる。第2装飾部108がハウジング112上に配置されると、リップはスロット302内に保持され、端部312は整合面310に係合する。これにより、ハウジング112に対する第1装飾部108の上下移動（図11の断面図の視点から）を小さくするが、あるいはなくすることができ、それにより落下したり衝撃を加えられた場合にもハウジング上に第1装飾部108を保持する。

【0037】リップ300とスロット302とは、1つのリップと1つのスロットとして図示される。しかし、適切な場合には2つ以上のリップとスロットに置き換えてもよい。前ハウジング102上に第1装飾部108をさらに確実に適合させるために、第1装飾部108は第1装飾部108の内面122に配置された1つ以上の支柱320を備える。支柱320は、音響アーチャ152内に嵌合するように配置され、音響アーチャ152の側壁322に係合する。音響アーチャ152の側壁322と係合することにより、支柱320はハウジング112に対する第1装飾部108の左右の動きを小さくするが、あるいはなくして、それにより落下したり衝撃を加えられた場合にもハウジング上に第1装飾部108を保持する。

【0038】図9においては2つの支柱320が図示されるが、音響アーチャ152の周縁部を完全に係合する1つのリングを含む、任意の数の支柱を設けてもよい。あるいは、ハウジング112の前面120に係合するよう支柱320を構成して、第1装飾部108が第1装飾部108の外周124に加えられる力に応答してない方に曲がらないようにすることもできる。

【0039】ユーザの便宜を図るために、携帯通信装置100のユーザ・インタフェース・キットを携帯通信装置100のそのものとは別個に提供することが企図される。この実施例においては、携帯通信装置は、第1端部114と第2端部116、前面120およびハウジング112（図1）の第1端部114に移動自在に配置されるキーパッド・カバー106を備える。ユーザ・インタフェース・キットは、第2端部116に近接してハウジング112の前面上に移動自在に配置される構造の第1装飾部108と、キーパッド・カバー106の外周107に移動自在に配置される構造の第2装飾部110とに



よって構成される。このようにして、第1装飾部108と第2装飾部110とは、携帯通信装置100の外観の個人仕様に合わせた調整を可能にする。

【0040】代替の実施例においては、ユーザ・インタフェース・キットは、ハウジング112内に位置する構造のキーパッド119をさらに備える。ユーザ・インタフェース・キットにキーパッド119を入れることにより、携帯通信装置の装飾的外観をさらに個人仕様に合わせて調整することができる。キー121に関して異なる外観を含むキーパッド119などの異なるキーパッドを提供することができる。キー121は、異なる色であったり、異なる字（日本市場における漢字など）を刻印したり、その他任意の適切な方法で改良することができる。ユーザ・インタフェース・キットの構築と組立とは、上記の本発明の原則に基づいて行われる。

【0041】以上からわかるように、本発明は、個別にあつらえた装飾的外観を有して製造することができ、個人仕様に合わせて調整する要素を順次保持しつつ二次購入者によって変更および調整することができる携帯通信装置を提供する。第1装飾部は、ハウジングの前面にスナップ式に止めて、ラッチ機構の必要性をなくすることができる。スナップ式適合のためのタブとスロットは、どの方向に力が加えられても第1装飾部に保持しつつハウジング上に保持するよう設計される。実際には、このような力は一時的に適合部を締めて、第1装飾部を保持する傾向がある。第2装飾部も、キーパッド・カバーにスナップ式に適合させて、これも高価なラッチ機構の必要性をなくする。第1装飾部および第2装飾部は、装飾部を屈曲させ押しのける力をユーザが指で与えることにより取り外すことができる。これにより、装飾的外観を特定のユーザの好みに合わせてあつらえ、変更することができる。ユーザ・インタフェース・キットは、携帯通信装置を個人仕様に合わせて調整するために必要な交換可能な要素だけをユーザが購入することができるようにして、さらに融通性を与える。

【0042】本発明の特定の実施例が図示および説明されたが、改良も可能である。たとえば、第2装飾部は単

独の丸いボスを有して図示される。代わりに、ボスを任意の形状とし、任意の数のボスと置き換えることもできる。従って、添付の請求項は本発明の精神および範囲に入るこのようなすべての変更および改良を包含するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明による成形装置の正面図である。

【図2】閉鎖位置にあるキーパッド・カバーを有する図1の携帯通信装置の等角図である。

【図3】図1の携帯通信装置の一部分の第1分解図である。

【図4】図1の携帯通信装置の一部分の第2分解図である。

【図5】図1の携帯通信装置の前面図である。

【図6】図5の直線6-6で切断した断面図である。

【図7】図5の直線7-7で切断した断面図である。

【図8】図1の携帯通信装置の第2実施例の第1分解図である。

【図9】図1の携帯通信装置の第2実施例の第2分解図である。

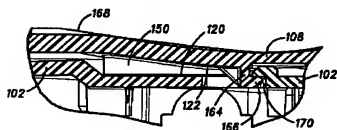
【図10】図1の携帯通信装置の第2実施例の前面図である。

【図11】図10の直線11-11で切断した断面図である。

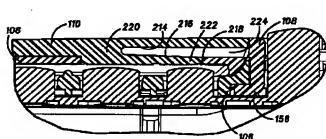
【符号の説明】

- 100 携帯通信装置
- 102 前ハウジング
- 103 アンテナ
- 104 後ハウジング
- 105 内面
- 106 キーパッド・カバー
- 108 第1装飾部
- 112 ハウジング
- 114, 116 端部
- 118 ヒンジ
- 120 前面

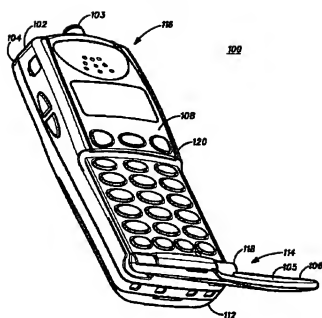
【図6】



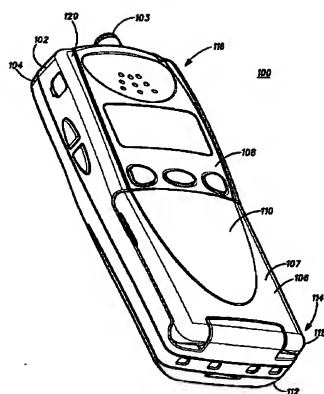
【図7】



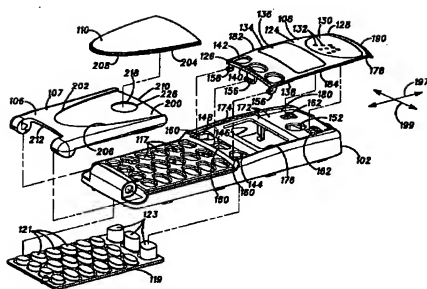
【図 1】



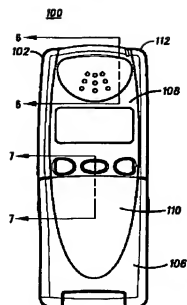
【図 2】



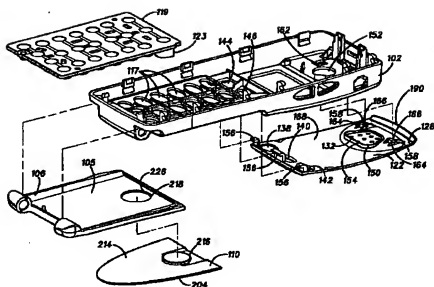
【図 3】



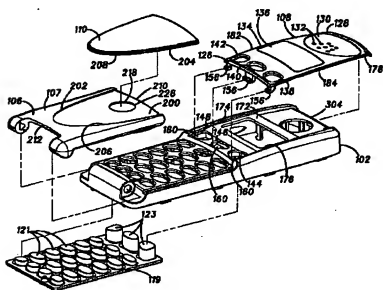
【図 5】



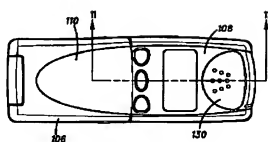
【図 4】



【図 8】

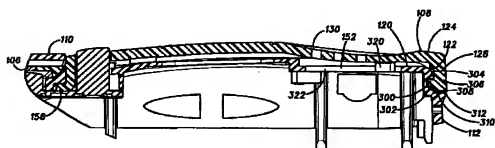


【図 10】



252

【図 11】



【図9】

